

ロータリー—ロミニ情報 三原 克也 会長エレクト

入会時、先輩からRCはいろいろな職業を持った仲間との出会いの場であると教えられ、ロータリーの本質は、自分の職業仕事を通じて、社会に奉仕することであるという事でした。ロータリーの本質は職業奉仕にあると考えます。職業とは本来生活の資金を得るための手段あり、また別の言い方をすれば、利潤追求の手段でもあります。しかし、職業とはそれだけでなく個々の仕事、専門分野を通して、社会に貢献して、社会生活が円滑に営まれるための行為で、そこには自ずと責任と誇りが生まれてくるものだと思います。

ロータリアンになられた方は、その職業分類においてその社会で認められた人が多い事と思います。しかし、ロータリアンになったことで一定の社会的ステータスを得て、それに満足してしまっている方もいるのではないかとと思います。

私のところは、食品の製造を致しておりますが、最近の商品の捏造、あるいは賞味期限の改ざんなどの事件の情報がいまだに多く入ってきます。しかも、その事件を起こした会社の代表がロータリアンだったりすると、これはもう手段を選ばず、利益の追求だけに走りすぎ、職業人としての倫理が無くなってしまったのかと思います。ロータリアンになるのは目的ではなく、ロータリアンは自分の職業を見直して、社会に貢献するスタートラインでなければならないと思います。職業奉仕について思っている事を、お話をさせて頂きました。

提案 中嶋嘉昭会長

本年度年次総会（12月第1例会）に向けて、理事の選考にあたり指名委員会を設置致します事を提案します。尚、指名委員会は5名で組織します。

ロータリー財団月間 足立 功一 パストガバナー

パワーポイントによるスライドを映して、ロータリー財団について説明を頂きました。

ロータリーのビジョンを実現させる財団、現在のRI会長はジョン・ケニーさん、財団委員長は慣例により5年前のRI会長グレン・E・エステスさんであります。

標語、使命、目的の紹介、寄付金は12,800万ドル、日本のDDFの残高は600万ドル、2500地区は75千ドル（2009～2010年）

シェアシステムで戻ってきた半分はワールドファンドへ、半分が地区でDDFとして財団活動資金で使えます。財団プログラムは、大きく3つに分かれます。1、教育的プログラム（国際親善奨学生、大学教員のため、国際問題研究のため、GSE・研究グループ交換）2、人道的プログラム（地区補助金、ボランティア奉仕活動補助金、マッチング・グラント、3H 補助金、災害復興、補助金プロジェクトの監査・監視）3、ポリオプラス

2007年の規定審議会で、毎年あなたも100ドルの目標を超えた場合、地区活動資金の30%まで地区補助金に使用できると決定している。

マッチング・グラントで人道的プログラムを実施しようとする時に、資金や専門知識が不足している場合、積極的なRCと提携を組んでやる。単なるお金の補助の場合は、世界社会奉仕(WCS)で、補助金を申請して財団プログラムのマッチング・グラントになる。二カ国以上にあるRCが協力し合ってそれを補うのがマッチング・グラント、5千ドルから15万ドルまでの申請が可能である。昨年度、韓国3590地区とタイと私達との3つの地区が協力し合って、タイの小学校にラーニングを設置し、今年確認に行ってきました。

ポリオプロジェクトには、ポリオ・プラスとポリオ・パートナーがあります。

新しい財団計画は、未来の夢計画を導入して2～3年の試験的スタディが行われ、パイロット地区が選ばれ、2013年から地区補助金に自動的に移行する。

R財団新補助金とグローバル補助金の2つに大きく分かれる。規制が無くなり、奨学生達も国内留学で好きな学校へ行けるなど使いやすくなる。この補助金は、奨学生、職業訓練、奉仕活動、海外の災害救助など地元や海外などの奉仕プロジェクトに参加することが出来るなど、ガバナーにとっては非常に使い勝手がよくなる。

新補助金は地区やクラブの裁量権が増します、グローバル補助金には目的が6つある関連した事業には多額の補助が出る。

2500地区ロータリー財団委員会委員長 小船井 修一 パストガバナー

ロータリー財団といっても、ロータリーあつての財団である事をまず確認しておきます。

RI理事会はTRF(The Rotary Foundation)の15名の管理委員を任命する。地区の財団委員長は3年間の任期で、財団委員会を次にどうするのか、どのように動いていくのか相談中であります。DLPで必要な責務については3年間、CLP、クラブの方でも同じような形で進む事が推奨されております。

どういう形で皆様から頂いたお金を使うのが重要であります。物事の考え方、行動(実践の道場)など様々な活動する場面で財団を使っていく事で、2500地区の活性化につながります。

今回、旭川の地区大会の財団セミナーで話をさせて頂きました。足立PDGにはポリオの話をお願いしました。年次寄付は地区として219,147ドルで、一人約90ドル近くの浄財を頂きました。恒久基金は16,222ドル(うち足立PDGが1万ドル)です。

ポリオは4年間で40万ドルを目標として、初年度(足立年度)に現金9万ドル、DDFで5万ドル、計140,279ドルを頂戴致しております。ほぼ1年半分です、残り3年間ではDDFから毎年5万ドルずつ出していくという事で、皆様からは一人2千円(約20ドル)を毎年頂くことで、留めていきたいと思っております。足立年度で集めて頂いた結果、これからは楽になったと感謝を申し上げます。